

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (382), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	385	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 コミュニケーション支援事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.05人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	5,756千円 (うち人件費 440千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市障害者プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	障害を持つ方が社会生活を営む上で不可欠なコミュニケーション確保のため、障害者のコミュニケーション支援員の養成及び派遣を行い、必要な情報等を得ることができる体制を整備します。				
(3) 事業内容	内容	随時、障害者の情報保障をする。 ■手話通訳者養成講座の開催 ■手話通訳者派遣事業 ■手話通訳者設置事業 ■要約筆記奉仕員派遣事業 ■行政行事等への通訳者派遣事業			当該年度執行計画	■手話通訳者派遣事業 4月・通訳者登録事務・派遣登録申請受付・決定 一随時派遣 ■手話通訳者設置事業 月～金午前9時から午後4時 ■行政行事等への通訳者派遣事業 随時 ■手話通訳者養成講座の開催 平成30年度は後期講習、27回開催				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	件	想定値	実績値
当該年度	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。			直接	利用者数/利用申請者数		%		100	100
平成31年度	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。			直接	利用者数/利用申請者数		%			100
令和2年度	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。			直接	利用者数/利用申請者数		%			100
(7) 事業実施上の課題と対応	聴覚障害者の社会参加のためには、コミュニケーション支援は重要な事業です。我孫子市の手話通訳者の登録者が少ないことから、千葉県が主催する手話通訳者養成講習会が開催されていましたが、平成29年度から千葉県が実施しないことから、当市主催で養成講座を実施することになりました。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		派遣事業費	594	派遣事業費	627	派遣事業費	627	派遣事業費	627	
		通訳者保険料	44	通訳者保険料	51	通訳者保険料	51	通訳者保険料	51	
		筆耕翻訳料	375	筆耕翻訳料	300	筆耕翻訳料	300	筆耕翻訳料	300	
コミュニケーション支援事業を行う3号3,608千円×1人	3,608	コミュニケーション支援事業を行う3号嘱託職員 3,610千円×1人	3,610	コミュニケーション支援事業を行う3号嘱託職員 3,610千円×1人	3,610	コミュニケーション支援事業を行う3号嘱託職員 3,610千円×1人	3,610			
手話通訳者講習会講師報償費	648	手話通訳者講習会講師報償費	728	手話通訳者講習会講師報償費	728	手話通訳者講習会講師報償費	728			
予算(決算)額	合計		5,269	合計		5,316	合計		5,316	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 30%	1,597	補助率 31%	1,666	補助率 31%	1,666	補助率 31%	1,666	
県支出金	補助率 15%	798	補助率 15.5%	833	補助率 15.5%	833	補助率 15.5%	833		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		2,874		2,767		2,817		2,817		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05		0.05		0.05	
正職員人件費			440		440		440		440	
嘱託職員報酬額			3,608		3,480		3,610		3,610	
臨時職員賃金額			0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			5,709		5,756		5,756		5,756	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			21.96千円/件		25.03千円/件		23.48			

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
	手話通訳者や要約筆記奉仕員を派遣し、意思伝達の手段を確保することで、コミュニケーションに障害を有する方の情報保障の推進を図っていく必要があります。又、聴覚障害者は、災害時の情報等緊急時や通常の社会生活を営むにあたって近隣住民とのコミュニケーションが取りづらい等の不便を強いられていますので、ファックスやテレビ電話や携帯等を活用し、情報保障をしていく必要があります。地域生活支援事業の必須事業です。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 手話通訳者派遣事業については、申請をした聴覚障害者に対してすべて派遣することができた。				○要 ●不要			
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 手話通訳者派遣事業は、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の必須事業であり、市が主体となるものである。		○要 ●不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 <その他の内容> 該当なし			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			取組む内容 実施した具体的な内容 環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ●不要			
	現況値(a)(%) 100 目標値(b)(%) 100 目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			達成状況 実績値(f)(%) 100 達成率(%) (f/b)×100 100 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 亡くなった方や転出した利用者がいたため。				○要 ●不要			
効率性	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 5,756 事業費削減額(d)(千円) △47 事業費削減率(%) △0.82			実施状況 実績値(g)(千円) 5,611 対事業費(%) (g/c)×100 97.48 <超過理由等>				○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要	
	目標値対事業費(e) 1.74 単位 % 費用単位 10万円			達成状況 実績値(h) 1.78 対目標値(%) (h/e)×100 102.3				○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 亡くなった方や転出した利用者がいたため。		○要 ●不要	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				
	本事業は障害者総合支援法第77条に定められている地域生活支援事業の中の必須事業であり、聴覚障害者へのコミュニケーション確保に有効な事業であるため、引き続き推進していく。									

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (390), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and future directions.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (394), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and future directions.

Final evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード 395 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 心身障害者扶養年金事務
(2) 目的: 住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。
(3) 事業内容: 扶養年金加入の承認（不承認）等の事務を行い、加入者からの掛金を徴収し千葉県に送金、千葉県から送金された年金を年金受給者に対し支払います。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: 千葉県からの委任事務なので、今後は県の動向を踏まえた事業展開とします。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？
(5) (1) 目標設定は適切か？
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか？
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、今後は現状どおり推進していく。
改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (396), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (397), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状) and evaluation comments (評価コメント).

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (398), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (400), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for the project.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (401), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (402), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed financial breakdown table.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?, (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (403), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status, evaluation comments, and improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (404), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	405	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 福祉手当の給付(市)	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	●市 ○その他()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐		■全市			
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.4人			
	⑦事業費(人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 62,328千円 (うち人件費 3,520千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市障害者プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	心身障害児、心身障害者、知的障害者、ねたきり身体障害者及び寝たきり高齢者等に対して福祉手当を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を図ります。				
(3) 事業内容	内容	【対象者】重度の障害を持つ心身障害児・心身障害者・知的障害者・ねたきり身体障害者・精神障害者・ねたきり高齢者等(各種制限有) 【支給金額】心身障害児・知的障害者・ねたきり身体障害者 月額8,650円 心身障害者・ねたきり高齢者等・精神障害者 月額6,500円 (所得制限あり一部該当者は半額支給) 【支給方法】6か月分をまとめて、銀行振込			当該年度執行計画	9月・3月に手当を支給				
		当該年度活動結果指標	福祉手当受給者数	単位	人	想定値	767	実績値	752	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	対象者に手当を支給し、生活の安定と福祉の向上を図ります。			間接	対象者への支給率(手当支給者数/手当支給対象者数)		%	100	100	
平成31年度	対象者に手当を支給し、生活の安定と福祉の向上を図ります。			間接	対象者への支給率(手当支給者数/手当支給対象者数)		%		100	
令和2年度	対象者に手当を支給し、生活の安定と福祉の向上を図ります。			間接	対象者への支給率(手当支給者数/手当支給対象者数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者に手当を給付することで生活の安定化を図ることができるため、今後も引き続き所得制限の導入を継続して適正な給付を実施していきます。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		在宅知的障害者福祉手当	9,861	在宅知的障害者福祉手当	9,757	9,507	在宅知的障害者福祉手当	9,757	在宅知的障害者福祉手当	9,757
		在宅身体障害者福祉手当	46,410	在宅身体障害者福祉手当	46,449	45,786	在宅身体障害者福祉手当	46,449	在宅身体障害者福祉手当	46,449
		在宅ねたきり高齢者等福祉手当	1,170	在宅ねたきり高齢者等福祉手当	936	449	在宅ねたきり高齢者等福祉手当	936	在宅ねたきり高齢者等福祉手当	936
心身障害児福祉手当	1,557	心身障害児福祉手当	1,246	1,103	心身障害児福祉手当	1,246	心身障害児福祉手当	1,246		
現況届等送付通信運搬費	143	現況届等送付通信運搬費	148	123	現況届等送付通信運搬費	148	現況届等送付通信運搬費	148		
障害者福祉手当システム保守料	130	障害者福祉手当システム保守料	130	130	障害者福祉手当システム保守料	44	障害者福祉手当システム保守料	44		
福祉手当窓付封筒印刷費	139	福祉手当窓付封筒印刷費	142	263	福祉手当窓付封筒印刷費	142	福祉手当窓付封筒印刷費	142		
障害者福祉システム利用端末設定費	207									
予算(決算)額	合計	59,617	合計	58,808	57,361	合計	58,722	合計	58,678	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 8%	4,930	補助率 8%	4,878	補助率 8%	4,878	補助率 8%	4,878	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源	54,687	53,930	53,663	53,844	53,800				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3	0.4	0.4	0.4					
	正職員人件費	2,640	3,520	3,520	3,520					
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0					
	臨時職員賃金額	0	0	0	0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	62,257	62,328	60,881	62,242	62,198					
(11) 単位費用(事業費/活動結果指標)	79.61千円/人	81.26千円/人	80.96							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	重度の在宅低所得障害者(児)の生活の安定と福祉の向上を図るために、福祉手当を支給します。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 在宅の重度障害者で低所得者への給付に重点を置き、生活の安定と福祉の向上を図ることができた。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他		<その他の内容> 助成事業であるため		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 重度障害者への給付制度であり、市以外は困難。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 申請に対して適切な給付を行った。		
	100	100			100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	62,328	△71	<削減の内容>		60,881	97.68	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.16		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
					0.16	100			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	重度障害を持つ在宅低所得者(児)の生活の安定と福祉の向上を図るために、市の手当を給付することは有効な事業であり、継続して事業を推進していく。								
改善案及び展開方向									

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	406	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	日常生活支援の充実		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
		個別事業	障害者プランの策定・推進									
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,320千円 (うち人件費)	1,320千円				
				(変更後)		千円 (うち人件費)	千円					
⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 第5次健康福祉総合計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス、地域生活支援事業のサービスの平成30年度から平成32年度までの提供体制の確保や充実のための目標値や方策を定め、計画の推進を図ります。						
(3) 事業内容	内容	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画です。障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等を通じて、平成30年度の地域移行や就労移行等の目標値を定めるとともに、目標に向けた平成30年度から平成32年度までの各障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービス提供見込量等を定めた我孫子市障害者プランに沿ってサービス提供の推進を図ります。			当該年度執行計画	我孫子市障害者プランの進捗状況の報告及び進捗管理・点検について、障害者総合支援法に基づき設置されている自立支援協議会で行います。						
		当該年度活動結果指標	計画数値の達成率	単位	%	想定値	100	実績値	100			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率	%	100	100				
平成31年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率	%		100				
令和2年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率	%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	我孫子市障害者プランの推進を図るために、自立支援協議会に図りながら適切な進捗管理を行う。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			我孫子市障害者プランの推進	108		我孫子市障害者プランの進捗管理	0		我孫子市障害者プランの進捗管理		108	
		*	障害者プラン印刷製本費	26						*	障害者プラン印刷製本費	26
		*	障害者プランアンケート返信用封筒印刷	90						*	障害者プランアンケート返信用封筒印刷	90
	その他	64							その他	64		
	合計	288		合計	0		合計	0	合計	4,680		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源		288		0		0		0	4,968		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.9		0.15		0.15		0.15	0.9		
	正職員人件費		7,920		1,320		1,320		1,320	7,920		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		8,208		1,320		1,320		1,320	12,888		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			82.08千円/%		13.2千円/%		13.2					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 自立支援協議会を核として、事業者、関係機関、関係団体等と連携を取りながら計画を推進した。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法律により定められた計画であるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		障害者プランの進捗状況や進捗管理について、自立支援協議会や市内障害福祉関係団体から意見聴取を行う。		障害者プラン策定時に障害者本人、障害者団体、障害福祉サービス事業者へのアンケートを実施した。また、自立支援協議会の意見を伺い内容へ反映させた。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 計画の進捗管理を行ったため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 ■⑦その他	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,320	6,888	<削減の内容>		1,320	100	<超過理由等>		
	事業費削減率(%)								
	83.92								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	7.58	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%	10万円		7.58	100			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	障害者基本法に基づく障害者計画と障害者総合計画に基づく我孫子市障害者プラン(平成30年~平成32年度)に基づき、サービス提供体制を整備し引き続き継続して推進していく。	改善策及び展開方向
----	---	-----------

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (407), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial table for FY29, FY30, FY31, and FY2.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (409), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for evaluation status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (411), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (413), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table.

Summary table for post-evaluation with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (414), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Table for post-evaluation with columns: 現状, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	416	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 障害者移動支援事業	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.05人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	81,440千円 (うち人件費 440千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市障害者プラン		
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	屋外での移動に困難がある障害児・者（未就学を除く）について、地域での自立生活及び社会参加を促すために、市から委託した事業所において、外出を支援する事業を行いません。				
(3) 事業内容	内容	ひとりで外出をすることが困難な障害者の移動を支援をするガイドヘルパー派遣を委託して事業を行います。			当該年度執行計画	・事業者委託契約の締結 25事業者 ・申請及び決定事務 随時 ・委託料の支払い (25事業者) 毎月				
		当該年度活動結果指標	移動支援事業利用者数	単位	人	想定値	275	実績値	248	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該年度	障害者の自立生活及び社会参加などの外出機会の拡大。				直接	移動支援事業利用者数		人	248 275	
平成31年度	障害者の自立生活及び社会参加などの外出機会の拡大。				直接	移動支援事業利用者数		人	280	
令和2年度	障害者の自立生活及び社会参加などの外出機会の拡大。				直接	移動支援事業利用者数		人	285	
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者の社会参加と余暇活動を推進するには重要な事業です。今後もサービスの充実に努めるためにも、事業者の拡大等について検討していきます。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			障害者移動支援事業委託料	81,000		障害者移動支援事業委託料	81,000		障害者移動支援事業委託料	81,000
		予算(決算)額	合計	81,000	合計	81,000	75,038	合計	81,000	81,000
		国庫支出金	補助率 30%	24,300	補助率 31.98%	25,110	23,954	補助率 31%	25,110	補助率 31%
県支出金	補助率 15%	12,150	補助率 15.99%	12,555	11,977	補助率 15.5%	12,555	補助率 15.5%	12,555	
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
一般財源		44,550		43,335	39,107		43,335		43,335	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
換算人数(人)		0.05		0.05	0.05		0.05		0.05	
正職員人件費		440		440	440		440		440	
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		81,440		81,440	75,478		81,440		81,440	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		254.5千円/人		296.15千円/人	304.35					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	当該事業は、障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置付けられ、市の必須事業となっています。身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、もしくはそれと同等の障害がある者が、ひとりで外出をすることは非常に困難なものであり、移動の支援を行うことで、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出を容易にすることができます。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置付けられた必須事業であり、外出困難な障害のある方が社会参加や余暇活動をするために、ガイドヘルパーを利用する制度はニーズが高く重要な事業である。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法令により実施主体が市と定められており、市以外の実施は困難。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		
	248	275	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 本事業が利用者、事業者への理解が深まり普及したため。		
					248	90.18			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	81,440	0	<削減の内容>		75,478	92.68	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		0							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.34	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 本事業が利用者、事業者への理解が深まり普及したため。		
		人	10万円			0.33	97.06		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	地域生活支援事業の必須事業であり、障害のある方の社会参加や余暇活動を支援していくうえで、また移動困難者の生活を支援していくために、引き続き推進していく。									

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1378), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and a detailed budget breakdown for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section including current status (現状どおり推進) and evaluation comments (評価コメント).

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1381), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 29, 30, and 31.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the necessity of the project and future improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

事業コード 1882 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は?
(2) 市が実施する必要性はあるか?
参加・協働の工夫
環境への配慮
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために必要な事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント
改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (2072), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with a detailed budget breakdown for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?, (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note on the status of the project and future improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (2082), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, and financials.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.